

会議録（要点筆記）

会議名	みやま市まち・ひと・しごと創生会議 平成 29 年度第 2 回会議
開催日時	平成 29 年 6 月 2 日（金） 午前 13 時 30 分～15 時 50 分
開催場所	みやま市役所 4 階中会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 第 1 回会議録（要点筆記）について (2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 重要行政評価指標（K P I）の補足説明について ② 事業計画書について ③ みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について 7 閉会
委員出席者	牛嶋 繁己、廣井 蔵、谷口 和宏、浦 里果、内田 和実、相澤 直子、北 慎一郎、高島 雄三、大賀 茂功、佐田 淳一、平島 奈央子、末吉 達二郎、瀬口 健
欠席者	林田 和也、田中 聖仁、宮本 五市
事務局	坂田企画財政課長、山田企画財政課長補佐、宮川
傍聴者数	無
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・名簿 ・会議録 ・重要業績評価指標（KPI）の現状に係る補足説明 ・みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について

1. 開会

<企画財政課長補佐より開会>

【事務局】 人事異動により、筑邦銀行支店長高島様が新しく就任されましたので報告します。

2. 議事

(1) 報告事項

①第1回会議録(要点筆記)について

【事務局】 第1回の会議録を配布している。確認をお願いします。

【委員】 意見なし。

(2) 第2回会議資料について

①重要業績評価指標(KPI)の補足説明について

【委員長】 事務局より説明をお願いします。

<事務局より、以下の説明>

「別冊」: 重要業績評価指標(KPI)の補足説明

【会長】 何か質問、意見ありましたらお願いします。

【委員】 Q2について。公共事業は年度でも大きく変わってくる。みやま市の経済基盤構造を強くしていってほしい。
教育委員会の回答の箇所。「この調査対象は、その年度の小学6年生と中学3年生であり、全ての子どもの一局面であることは否めません」という記述は、たまたまこの年という風にとらえることもできる。結果を真摯にとらえていただいて、全体を見据えた教育に取り組んでいただきたい。

【事務局】 市町村民経済計算の内容を見ると、建設業について年度間でばらつきがあるのは否めない。一方鉱工業については安定している。鉱工業の生産額のシェアを高めるとか、課題になるが、農林水産業やサービス業が下がってきているので、稼ぐ力をつけるという取組みは必要。しかしながら簡単にはいかないので引き続き努力していきたい。

【教育委員会】 29年度の結果がまもなく出てくるので、分析し努力していきたい。

【会 長】 アンケート調査のサンプル数はどれほどか。

【教育委員会】 小学6年生、中学3年生のすべての児童・生徒です。

②事業計画書について

【委員長】 事務局より説明をお願いします。

＜事務局より、以下の説明＞

事業計画書の説明（基本目標ごとに区切って説明）

※基本目標（1）について

【委員長】 質問・意見はないか。

【委 員】 6次産業化の箇所。県としても力を入れているところだが、販売額の伸び悩みがある。県としても食の販売促進に努めているので、県への売り込みなど活用いただきたい。

【委 員】 事業一つ一つの達成率などは持っているのか。

【事務局】 K P Iの一覧表で個別目標の現状は報告したとおりだが、全体的に大きな目標でどうかというと「しごとづくり」については苦戦している。

【委員長】 事業計画書は、K P Iとは分けて記述いただいている。計画書中に可能であれば盛り込んでいただき、今日の議論と結びつけた話ができたなら良かったのではないかとも思う。今後の資料を作成する際に検討いただきたい。

【事務局】 前回お渡ししたK P I一覧表の資料を手元においておくと少しは分かりやすいかもしれない。K P Iの設定についてはすべての項目に対して設定はしていない。次年度以降盛り込める部分は一つの用紙にしたい。観光については少し向上しているのではないかと感じている。苦戦しているのは農林水産業の生産額。スマートエネルギーについてもまだ目標には到達していない。

【委 員】 みやま市で力をいれているスマートエネルギーについて、現在の売上げと目標値にかなり乖離している。課題や具体的な対応策、問題点は。

【事務局】 売上額については31年度までには目標額を超えると思われるが、課題は市内の普及率。まずは職員の切り替えを進めている

ところ。全職員対象とした説明会を実施した。株式会社スマートエネルギーの営業活動になるので、会社中心に推進していくことになる。PR不足という問題点がある。思ったほど電気料金が安くなるというわけではないので切り替えがすすまないということであるが、再生可能エネルギー中心でやっているということをPRしていきたい。

【委員】 エネルギーの地産地消を推進しているが、地消が進まないという課題がある。コンセプトが崩れないようにすすめられたい。

【委員】 有害鳥獣駆除の件。みやま市独自でも難しい。広域的にも取り組まれているが、イノシシは罠で捕まえるのでは被害を食い止めることは難しい。一方で、現在は猟銃の免許取得が難しくなっている。どのようにすべきか。

【事務局】 現在市で行っている狩猟免許の取得については、銃の取得についての助成は行っていない。銃の所持に対する免許は難しいと聞いている。一方で猟友会の方々の高齢化も課題。抜本的な解決には結びつかないが、一部シルバー人材センターに委託して、見回りや罠にかかった後処理といった負担軽減措置をはじめた。駆除が一番の方策ではあるが、ワイヤーメッシュなども助成の対象として全体的な取組としてやっている。

【委員】 国などに働きかけないと難しいのではないかと。私的な考えだが、警察官OBに駆除期間のみでも猟銃を与えて駆除に取り組んでもらうなど、関係機関との協議も必要と感じる。

【委員】 罠だけでは難しいところもあると思う。駆除したイノシシの処理施設など、若い人が魅力を感じるビジネスもそこにあるのではないかと思う。

【事務局】 最近ではジビエ料理レストランでもでてきたりして、加工施設を有する自治体もあります。ジビエ料理ではイノシシの血抜き処理が難しいと聞く。本市の年間捕獲頭数は500～600頭なので、現状の捕獲頭数では加工施設の運営は難しい。集落全域をワイヤーメッシュで囲むという話もある。抜本策は無いが、引き続き検討していかないと被害が減っていないので、所管課と進めていきたい。

※基本目標（2）について

【委員】 P28の市営住宅跡地の件は一括販売ということだが、市で定住移住施策を進めるにあたって、市が直接宅地造成し、販売するのがいいのではないかと。

- 【事務局】 議論の結果、このやり方で進めることで決定している。一括して売却はするが、他の用途の使用制限など条件を付すなどして進めていく。
- 【委員】 P23 のふるさと納税の取組みは評価すべきであるが、市一丸となって取り組んでいるのか否か。
- 【事務局】 市外居住者の市職員に対してはみやま市に寄付をしてほしいという依頼はした。宣伝マンとなって他市の知り合いに呼びかけを依頼することはしていない。
- 【委員】 市街化区域内の空き宅地も多い。そこに市の空き家バンクがからむといいのではないか。
- 【事務局】 市の空き家バンクでは空き地に関しても登録している。
- 【委員】 P37 のU・I ターンで30歳同窓会に関する継続の意向はないのか。
- 【事務局】 H28年度に市制10周年記念行事として行ったが、今年は予算計上していない。現在、前年度参加者にアンケートをとっている。今年度は自主的に開催していただきたいと考えている。
- 【委員】 道の駅みやまの観光協会の方に聞いた話だが、柳川の情報を聞く方が多いと言われた。みやまの情報発信をするための取組はあるのか。
- 【事務局】 観光案内の7割から8割は柳川市の観光についての問い合わせと聞いている。柳川市を訪れる観光客について、みやま市でお金をおとしていただくということでもあるので、それはそれで良いと思うが、課題は本市のPRをどう進めるかということ。オルレについては評判が良く、他市の例よりも途中で買い物ができたり、ゴール地点で飲食ができたりといったメリットがあると伺っている。長い取組みになるとは思うがPRを継続していく。
- 【委員長】 P25 は、道の駅みやまの情報発信機能強化となっているが、内容は道の駅の整備となっているので内容にズレがあるので、工程表についての項目を検討されたい。
- 【委員】 P33 のみやまスタイルの提案の中で、HEMSの設置が伸び悩んでいると思われるが、その課題と対策は。買い物サービスの売上げが上がっていないことについての課題は。

- 【事務局】 電気の見える化ができるHEMSについては、電気の使用状況が見えるだけで、なかなかメリット感がないということで伸び悩んでいる状況。タブレットを活用した買い物サービスなど、他の市民サービスへのメリットをPRできていない。
- 業界の進歩も著しく、大きな機械を据えることなく、USBメモリーを差し込むだけでHEMS導入ができるというものも出ているので推進していきたい。買い物サービスについては、商工会と協力していろいろなお店のメニューを掲載しているが、それを使ってモノを注文するユーザーが少ないのが現状。買い物弱者対策としては有効な手段のひとつと考えられるので、高齢者に絞ったユーザーを増やすなど今後できるのではと考える。
- 【委員】 現在 2,000 世帯にHEMS設置されているが、そこに意見を集めればニーズがわかってくると思うがどう考えるか。
- 【事務局】 2,000 世帯の取組みを行うのは当時のノルマのようなもので、その後のサポートができていないのはご指摘のとおり。

※基本目標（3）について

- 【委員】 総合戦略の観点から意見を申し上げますと、将来、地元就職したいなど、郷土愛を育む授業や、職場体験などを内容に入れていただいたほうが良かったのでは
- 【事務局】 郷土愛を育む特色ある授業はできていないと思われる。後ほど総合戦略の一部改正を提案する中で、郷土愛を育む施策の一つとして提案したい。
- 【委員】 P52の放課後児童クラブの件について。法人化など良い方向で進んでいると思うが、学校と放課後児童クラブに対する情報の共有ができていないと感じる。プライバシーの関係で、支援員に言えないこともあるかもしれないが、発達障害の子どもに対する対応など情報の共有を取り組み内容に記載したほうが良いのではないかと思う。項目として入れるべきであると考えます。
- 【事務局】 学校教育は文科省で、放課後児童クラブは厚生労働省で、従来から学校の先生と市の担当との連携ができていないというのが課題でした。保健福祉部と教育部と連携をとって協議の場を設けるなど今後の取組みに活かせたらと考える。

※基本目標（4）について

【委員】 P76 について。現在は西鉄開駅の乗降者数が伸びている。実施計画の工程表の中には J R 駅周辺の記述はあるが西鉄開駅周辺の整備に関する記述がない。市の見解は。

【事務局】 乗降者数について、J R 瀬高駅は 2,600 人くらいで、西鉄開駅は 680 人くらい。J R 渡瀬駅で 500 人程度。渡瀬駅の利用者数は減少しているが、開駅は微増している。まずは、高田拠点地区活性化検討委員会などを立ち上げて、J R 渡瀬駅周辺を整備しようということで進めてきた。31 年度まではこれを中心にやっていくということで工程表に掲載している。この 5 年間の計画期間中に調査費などが盛り込めるようでしたら所管課と検討していく。

【委員長】 30～31 年度の中で盛り込めるものがあれば記述されたい。

【委員】 渡瀬駅周辺の活性化の質問の中で、西鉄開駅に急行列車などを停車させるなどの努力をされたいなどの意見があったと思うがどうか。総合市民センターの話が全く無い状況で、まいピア高田で事業を増やしていこうということが根底にあって、渡瀬駅周辺の活性化と西鉄開駅にも急行列車を停車すべきという話があったと思うが、提言書に記述があるか否かはわからない。

【事務局】 確認したい。5 年間の計画の中に記述できるものがあれば担当課と検討したい。

③ みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について

【委員】 給付型奨学金について。みやま市内に残っている人がどのような方がいらっしゃるのかの把握が大切。成績は給付要件になると思うが、地元で就職したいという意欲がある人に給付すると実効性が高くなると感じる。仕組みを工夫してもらいたい。

【事務局】 今考えられるのは所得要件や成績要件である。どんな線引きをするのか今後検討が必要。できるだけそのような生徒さんが帰ってきたほうが良いので。山門高校へ進学して欲しいという観点から、山門高校卒を作ることも検討していいのではないかと思う。具体的な制度設計については市内の定着の促進の観点から今後検討したい。

【委員】 具体的内容については今後示されるのか。他の事業と重複しているところがあるのではないのか。

【事務局】 総合戦略に奨学金のことはこれまで一切触れていない。具体的な制度設計は今後行う。

【委員】 ここで出た意見はどのように取り扱われるのか。

【委員長】 今後は事務局サイド、会長・副会長あずかりで取り扱いを決定していけたらと思います。それでは協議事項についてはこれを以て終了します。

【事務局】 長時間にわたってご審議いただきありがとうございました。2回の会議で貴重なご意見をいただきました。内部の本部会議及び関係部局と調整しながら地方創生の施策に取り組んでいきたい。今回の実施計画に入れたほうがいいのではという意見については、会長・副会長・事務局で最終調整についてはお任せいただきたい。

(1 5 時 5 0 分 閉会)